

平成 28 年度第 5 回宍粟市総合教育会議議事録（要旨）

1 開会及び閉会の日時及び場所

平成 28 年 11 月 16 日（水）午後 4 時 30 分～午後 5 時 45 分
宍粟市役所 403 会議室

2 会議に出席した者の職氏名

（構成員）市長 福元 晶三 教育長 西岡 章寿
教育委員 杉本 健三 弓削 ルリコ 前田 純恵 金本 一二
（事務局）教育委員会事務局
教育部長 藤原 卓郎 教育部次長 前田 正人
教育総務課長 橋本 徹 教育総務課副課長 中尾 美恵子

3 開会

（教育総務課長）ただいまから第 5 回宍粟市総合教育会議が開会されます。福元市長より開会にあたっての挨拶、続いて議事進行をさせていただきます。

4 あいさつ

（市長）秋も深まり、素晴らしい紅葉の季節になりました。心配しておりましたが、波賀町では素晴らしい紅葉となっており、今週末には山崎町でももみじ祭りが予定され、市内各地に多くの方にお越しいただいています。

今日は、教育委員会事務事業評価について、また、新年度予算にむけての協議をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

5 協議報告事項

(1) 宍粟市教育委員会事務事業（平成 27 年度実施事業）評価結果について

（市長）これより協議報告事項に入ります。宍粟市教育委員会事務事業の評価結果について説明、報告をお願いします。

（教育総務課長）教育委員会評価については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき、教育委員会自らが毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、これを公表することが義務付けられています。

宍粟市では、教育方針である「宍粟の教育」に基づき、担当部署での成果や課題整理・検証による自己評価である第 1 次評価を行った後、点検及び評価にかかる有識者の意見、提案等による第 2 次評価をいただき、次年度に向けた事務事業の改善に役立てています。

「宍粟の教育」は毎年策定しており、今回の評価は前年度、平成 27 年度の宍粟の教育の事業内容について、7 名の有識者で 9 月に会議をもち、評価を行っています。

平成28年度（27年度事業対象）宍粟市教育委員会事務事業評価シートをご覧ください。就学前教育、学校教育、社会教育と分かれており、それぞれの基本目標により各担当課が自己評価を行っています。有識者委員より意見をいただいた内容と委員評価がシートの右側に記載のとおりで、委員からの意見をもとに報告させていただきます。

（事務局より委員意見及び委員評価について概要説明）

（市長）教育委員会事務事業評価について報告がありましたが、何か意見等ありますか。

（前田委員）有識者会議の委員は毎年継続して任命されているのですか。

（教育総務課長）7名の委員は、継続の方もあれば新たに依頼した方もあります。出身地域や専門分野などを考慮して委嘱しています。

（杉本委員）学力に関わることについて、本来、学校は勉強だけではなく、いろんな経験をして社会で自分なりに活躍できる場を見つけて頑張れる力を身につけるところと思っていますが、全国学力学習状況調査では、宍粟市の児童生徒は全国平均よりも少し劣っているという結果で、その分布状況を聞くと、平均より下が多い状況であるとの報告でありました。世間では東大や京大等へ行く生徒を増やすことを求められるという考え方もあるが、やはり学力の基礎基本が定着していないとしんどい目にあうと思います。教員は本当に学力を付けてやるのが大事であると思う。取組の成果及び今後の課題の中で分析もされているが、本当に事務局の自己評価がB+なのかどうかだと思います。宍粟市には、教員マイスター制度という素晴らしい制度があるので、もっと制度活用し、教員が指導力を発揮して児童生徒に学力をつけるべきであり、教員の姿勢が大事であると思います。教育委員会や校長会は、しっかりと教員の姿勢というものを先生方に伝えていくことが仕事であり、学力向上に努めていただきたいと思います。

（市長）事務局から説明等ありますか。

（教育長）宍粟市は他の地域と比べて家庭学習の時間が少ないという調査結果であり、また、学校では、小学校の先生が行事に追われていることもわかってきました。12月以降には、校長会で今後の行事の精選をお願いする予定です。また、中学校では、学力について教師が踏み込んで話し合うことがあるが、小学校ではほとんどないと聞いたので、もっと小学校の先生方にも学力が十分身につけていないことや学力向上に本気で取り組まなければならないことを伝えていかなければならないと思っています。

（市長）他に意見等ありますか。

（前田委員）ノー部活動デーやノー会議デーが取り入れられていますが、これらの日を設けたことで先生方にはどのような効果がありましたか。

（教育長）中学校のノー部活動デーは週1回、土日は月2回以上として実施しています。先生方は学力向上のためにノー部活動デーの時間帯を学力向上のための基礎学習の時間に振り替えている場合もあり、先生の負担としては減っていない現状です。ノー会議デーには取り組んでいます、ノー残業デーがなかなか出来ず困っています。その理由としては、勤務時間終了後にテストの採点や教材研究をせざるを得ないため、結果的に定時に帰れないことが多く、昨日、校長、教頭、若手の教員、ベテランの教員、養護教諭、事務職員の各代表に集ってもらい、疲労回復のためにも業務改善に取り組もうと共有したところです。

（杉本委員）親が宿題のチェックをするなど、家庭学習をもっとしっかりさせるべきで、学校の勉強をしっかりしなければならぬという家庭の雰囲気大事だと思います。

(教育長) 家庭の教育力は非常に大きいと思います。新聞の投稿欄に中学生が、人権は家庭教育の中で学んでいくことで、改めて学校で学ぶ必要はないと投稿していたことがあり、家庭教育の大切さは生涯に亘って子どもたちに影響を与えたいと思います。

(市長) 子ども達が生きていく力を自分自身で身につけるためにも勉強は必要だと思います。他に意見等ありますか。

(前田委員) 学校で読書を勧める取り組みはしているのですか。

(教育長) ほとんど毎日、朝の10分間、授業前に読書をする時間を設けています。

(前田委員) 小学校でも取り組んでいますか。

(教育長) はい、小学校1年生から中学校3年生まで取り組んでいます。

(前田委員) 学童保育所の指導員をしています。現場では、児童が宿題をしても、文章問題になると自分で読まずに、すぐに指導員に聞くので、読解力が低いと感じています。読解力を上げるためにも読書は必要だと思います。

(教育長) 学力調査における点数が低いのは文章を読み込む力が不足しているから問題が解けないと考えられます。全国的に、本を読まずにすぐにインターネットで調べるといった傾向が強くなっているようです。

(前田委員) 移動図書館で子どもが借りる本の傾向は絵や写真がたくさん載った視覚的に訴える本が多く、読物を選ぶ子はほとんどいない様子であり、自ら進んで字を読むことが少ないように感じます。

(教育長) 家庭で親も子どもに読書するように言わない現状が多く、親自身が読書をあまりしないことも子どもが本を読まないということになり、読書が習慣にならない原因なのかもしれません。もっと家庭への啓発をしていく必要があります。

(杉本委員) 学校で新聞教材を使うNIE運動があり、宍粟市内でも指定校としてこの運動に取り組む学校もあるが、子どもに新聞を見る機会が浸透しているかどうかはわかりません。

(教育長) 西播地域で学力学習状況調査の結果を広報誌で公開しているのは、宍粟市だけです。今回の学力調査では、西播地域はどこの市町も点数が低かったと聞いています。

(杉本委員) 広報で市民の方にお知らせをすることは良いことだと思います。学校も家庭も頑張っ取り組もうという雰囲気になれば良いと思います。

(市長) 調査年度によっては成績が良い学年となる場合もあるのではないのでしょうか。

(教育長) 調査年度により違うこともあります。

(市長) 他に何か意見等ありますか。

(弓削委員) 有識者、評価者の職種や立場により、評価の仕方も違う場合があるのではないかとと思うがどうですか。

(市長) 個人の意見のまとめを全体で集約して評価をいただいていると思います。

(金本委員) シングルマザーが増えている状況もあり、親子で過ごす時間が少ないのではないかと思います。家庭教育について、どのようなアドバイスを教育委員会がしていくべきか考えていかなければならない時代が来ていると思います。

(杉本委員) 教育基本法の改正により家庭教育は大事であると位置づけられていますが、家庭環境や経済的理由で家庭に余裕がないだろうけれども、これは時間の問題ではなく、心の問題だと思います。多忙で子どもを見られない親でも子どものことを思っていれば雰囲気でも伝わる

ものと思います。

(市長) 評価シート4ページの今後の課題の欄に部署間の連携についての記載があるが、来年4月に子育て包括支援センターを立ち上げ、0歳から就学前の子どもを包括的に見守る政策と義務教育の中でも社会問題である貧困問題とを健康福祉部、教育部が連携し、取り組んでいきます。

(市長) 同ページの防災訓練については、各学校に積極的に取り組む姿勢がないと身に付かないと思います。委員の意見についてですが、学校独自の防災訓練は工夫すれば色々な方法があり、市への情報提供を求めるばかりでなく、もっと各学校で工夫されるようお願いしたいと思います。

(教育総務課長) 有識者委員がご自身の職業的立場からの意見として、各学校でも訓練をされているが、参加者が少なく、保護者の意識が低くなっているように感じておられました。参加したくなるような取り組みをするべきだという意見がありました。

(教育総務課副課長) 今回各幼稚園、保育園での防災訓練状況について調査し、調査結果として各園に情報提供しました。防災訓練については、様々な工夫により取り組んでいるが、宍粟市という地域にあった訓練等様々な情報を教育委員会事務局から園所に更に提供してほしいとの委員意見であったと思います。

(市長) 評価シート3ページで、子育て支援員配置についての意見があるが、どういう意味合いのものですか。

(教育総務課副課長) 保育所や幼稚園が子育て支援員を配置し専門的に子育て支援ができればという意見がありました。各園所は地域に対して園開放をされています。実施方法は園によりますが、幼稚園や保育所には、未就園児の受け入れができるように親子で、また園児と交流していただく場です。通園する園所児童のための幼児保育、教育を行う保育士や教員はいますが、保育中でもあり、子育て支援になかなか携わることができず、専門要員としての態勢が十分でないという現場からの意見でした。

(2) 平成29年度予算編成について

(市長) 人口減少の中で、特に若者の定着、子育て環境の充実、教育の充実の課題があります。昨年度の取組をふまえながら来年度の予算編成に入ります。4つの基本姿勢の中で予算編成するように各部に指示しています。①人口減少による地域の存続が危ういという危機感を職員で共有すること、②前例にとらわれず事務事業をより良く見直す観点で考えること、③市民への説明責任を持って明確な目的を持って政策を推進すること、④常に研究心、探究心、好奇心を持って提案すること、これらの考えの中で予算編成をしています。さらに重点項目として、①持続可能な健全財政、②雇用の創出による若者の定住促進、③子育て環境の充実、④シニア世代が生涯活躍できる場、これらの観点で来年度に向けて準備をしています。教育委員会事務局で現在考えている政策があれば教えて下さい。

(教育総務課長) 現在、各課で予算の要求、積算をしています。主だったものとして、教育総務課では、ICT活用授業改善事業について、ノート型タブレットを用いた授業改善を進めています。学校規模適正化事業について、はりま一宮小学校の30年4月の開校に向けて準備を

進めています。伊水小学校の屋内運動場の改築事業について、今年度と来年度取り組んでいく予定です。学校教育課では、ふるさと宍粟探検隊事業に取り組んでいますが、低学年にも広げ、小学校から中学校のトライやるウィークに繋がるような取り組みにと検討しています。また、特別支援教育総合サポート事業やいじめ対策総合推進事業の予算を編成しています。こども未来課では、施設型の保育所の給付事業、委託事業、あずかり保育・学童保育所事業、幼保一元化事業の予算を編成しています。社会教育文化財課では、生涯学習の講座内容の組み立て等も考えながら検討しています。文化財保護事業や歴史資料館管理事業等の予算を編成しています。給食センターでは、食育の観点から安心して取り組める給食を推進しています。詳細については調整中で検討する点もありますが、概要を報告させていただきました。

(市長) 具体的な事業を含めて委員の皆さんから意見ありますか。

(杉本委員) 学校教育関係のふるさと宍粟探検隊は大事だと思います。地元を知ることは人口減対策や新たな市の活力に繋がっていくと思うので進めてもらいたいです。また、保護者と学校の先生の繋がりを深くしていく取り組みをしてもらえたらと思います。

(弓削委員) 私の子どもが通う頃の体験からすると、先生方との距離は感覚的に近いつきあいだったように思います。

(市長) 学校の先生が親の対応をするのが大変という声も聞くことがあります。

(教育長) 先生は授業後、生徒指導等に多くの時間を要して帰りが遅くなることもあります。

(市長) 事務の改善で残業が少なくなることはないですか。

(教育長) 平成 26 年度から校務支援ソフトを導入しており、通信簿、指導要録、出席簿を全てパソコンで統一した規格、様式で管理できるようになり、改善されてきています。

(市長) 教師にとっては、ICTの活用は大変ではないのですか。

(次長) 苦手な方もあるかもしれないが、実際はスムーズに活用し、資料作成など効率的な活用ができています。

(弓削委員) 教育委員研修に参加してICT活用について学んだが、児童生徒からICT活用についてより専門的に質問があったときに先生が対応するのが大変という声も聞きました。

(前田委員) 研修では、ICT活用の核になる先生を各学校で教育して、他の先生へも活用を広げていくと聞きました。

(次長) 各学校で核になる人、担当する人を育成して、広げていくことになります。

(市長) 新年度予算の編成作業は、1月下旬くらいが最終となるので、今後、新年度の事業については、教育委員会会議で事務局を通じて、聞いていただければと思います。ありがとうございました。

6 閉会

(教育長) 評価結果、予算編成について多くご意見をいただきありがとうございます。今後の取り組みの参考にさせていただきます。まだこれからも学校訪問でお世話になる方については、よろしく願います。本日はありがとうございました。